

浦田町長が再選

町議補選は原田幸美氏と木村幸治氏が当選



2期目の町政を担う浦田弘二町長(赤池)



初の試みとなった公開討論会



選挙翌日の当選証書付与式

任

期満了に伴う福智町長選挙が3月14日に投票され、浦田弘二町長が再選を果たしました。有権者数は2万610人で、投票者数は1万4千545人。投票率は前回の74.28%より3.71%下回る70.57%でした。

告示3日前の3月6日に田川青年会議所主催の「ローカルマニフェスト型公開討論会」が開催されるなど、町活性化の公約にも注目が集まった福智町誕生後2度目の町長選挙は、現職の浦田町長が新人の大島道人前議長を2千59票上回る8千163票を獲得し、2期目となる町政の舵取りを託されました。

なお、6人が立候補した福智町議会議員補欠選挙も同日投票され、3千223票を得た元議員の原田幸美氏と、2千930票を得た同じく元議員の木村幸治氏が当選しました。

町議補選当選者



原田幸美議員(弁城)



木村幸治議員(市場)

| 投票所 | 投票会場 | 対象地区 | 有権者数 | 投票者数 | 投票率 | |
|------------------------|--------------|---------------|----------------|---------|---------|--------|
| 第1投票所 | 福智町金田体育館 | 金田地区・神崎地区 | 6,556人 | 4,628人 | 70.59% | |
| 第2投票所 | 方城中学校体育館 | 伊方地区(一部を除く) | 2,673人 | 1,932人 | 72.28% | |
| 第3投票所 | 福智町方城支所 | 弁城地区・伊方地区の一部 | 3,572人 | 2,505人 | 70.13% | |
| 第4投票所 | 上野小学校ふれあいホール | 上野地区 | 2,060人 | 1,514人 | 73.50% | |
| 第5投票所 | 福智町中央公民館 | 赤池地区・市場地区 | 2,536人 | 1,828人 | 72.08% | |
| 第6投票所 | 福智町中央公民館 | 中尾地区・ニュータウン地区 | 3,213人 | 2,138人 | 66.54% | |
| 問 福智町選挙管理委員会 ☎ 22-0555 | | | 福智町長選挙投票状況 ▶ 計 | 20,610人 | 14,545人 | 70.57% |

町長日誌

▼わたしは、町民のみなさんといかにして意思の疎通を図っていくのが、まちづくりを進めていく上で最も重要で基本的なことだと思っている。したがって、行政が持っている情報の公開、周知の方法や町民のみなさんの考え・思いの把握にどう取り組めばいいのか、問われることになる。つまり、広報、広聴活動の充実度合により、住民目線のまちづくりが実現できるのかが、決定されると言っても過言ではないと思う。平成18年4月の町長就任以来、情報の伝達方法として広報紙の充実に努めているが、みなさんの目にはどう映っているのだろうか。率直なご意見を頂戴できれば、今後の参考にさせていただきたいと思っている▼また、タウンミーティング(地域懇談会)という形で、町民のみなさんの声を聞かせていただくと同時に、情報を伝えるという双方の交流の場も積極的に設けてきた。加えて、各行政区から日常的に寄せられている要望等も含めて、町政推進の指標としていくところである▼言うまでもなく、まちづくりの主役は町民のみなさんであるが、行政との間に協働関係を築ける環境が整っていないければ、そのことも有名無実に帰してしまう。もちろん、環境整備の役割を果たすのは、わたしたち行政である。そして、滅私奉公に徹して働く行政側の姿勢が、町民のみなさんとの意思の疎通を円滑にする潤滑油にもなり得るのだと信じている。

浦田弘二